

## 令和3年8月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

8月中旬以降、お盆期間を挟む長雨や、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う県の集中対策期間の設定などにより、回復の兆しがあった小売業やサービス業等において業況が悪化したことで、景況DI値は僅かながら低下し、依然として停滞している。

業種別では、窯業・土石製品や建設業の一部で、順調な受注がなされているとの報告がある一方、木材・木製品や自動車関連等の製造業及び建設業等においては、原材料不足や資材価格の高騰が続いており、売上・収益に影響が出ている。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、多くの業種において、コロナ前の売上には遠く及ばず今後の事業継続・展開の見通しが立たないとして、先行きへの不安感を訴える声が多い。

### 山口県の主要指標 DI 値（令和3年8月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：1.3% 悪化：50.0% DI値：▲48.7% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：11.3% 減少：48.8% DI値：▲37.5% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )


前年同月比は、好転：5.0% 悪化：47.5% DI値：▲42.5% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和3年8月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲87.5	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲33.3	▲22.2	0.0	▲46.9
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業
▲40.0	▲62.5	▲80.0	▲54.5	▲36.4	▲42.9	0.0	▲50.0
							

全 体
▲48.7


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	お盆の売上に期待をしていたが、大雨の影響で全体的に売上が低下。資金調達やテストマーケティングの場として「株式会社K A I K A」の運営するクラウドファンディングへの期待は大きい。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	山口県内での新型コロナウイルス陽性者の増加に伴い、売上が減少傾向。	パン・菓子製造業 下関市
	長雨が、水産物の水揚げに大きく影響している。コロナ禍の長期化により、団体旅行客がほぼゼロに近く、土産品販売がほぼゼロに落ち込み大変な状況。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍での業況は、変わらない組合員と季節的に厳しい組合員とに分かれている。数値的な部分はわからないが、今年の秋冬の業況はコロナの状況とワクチンの普及率で変わってくるのではと思われる。前月に続き、ベトナムのコロナ状況も酷くなり、実習生の入国も難しく冬に向けて忙しくなる組合員が困っている。	水産食料品製造業 下関市
	8月に入っても新型コロナウイルスの影響が続いており、業況は悪化。原料不足・原料高騰の懸念も払拭できず、大型商業施設の入場制限等も懸念材料。山口県も独自の飲食店の営業制限を発表するなど、更に厳しくなる一方である。	
	J Aから令和3年産仮渡金価格の提示があったが、令和2年産に比べ15~20%の減額となり、売上高の大幅な減少が予想される。また、新型コロナウイルスの蔓延に伴い山口県でも活動自粛の要請があり、県内各種イベントも中止されるものが多かった。飲食店の時短要請や酒類の販売禁止などにより、関連食材の売上も激減し、特に日本酒メーカーの売上減少が酒米の買い控えにつながっており、影響が多岐に広がっている。秋雨前線の長い停滞が続くなど、今年も異常気象が続いており、地球温暖化の防止対策として、脱炭素社会への実現に向けた、急速な取り組みが必要。	精穀・製粉業
繊維工業	外国人技能実習生の異動は無い。現在実習生人員は、中国15名、ベトナム29名、合計44名。新型コロナウイルスの影響で、ベトナムの送り出し機関との面接が出来ない状態が続いている。中国では南京空港閉鎖など、帰国にも影響が出ている。	下着類製造業
	令和2年と変わらない状況である。	外衣・シャツ製造業

木材・木製品	木材全般が高騰する状況の中、それに関連するのかどうか、住宅関係資材全般の価格が上昇している。この状況がいつ改善されるのか、価格の安定が求められる。組合の売上は無い状況。	製材業・木製品製造業 岩国市
	前年と変わらない状況。	製材業・木製品製造業 山口市
	組合員の平均の売上額は、令和元年8月（コロナ前）と比べ15%減少、令和2年8月（コロナ禍）に比べ10%増加。売上高の対前年比については、7月以降「ウッドショック」による木材価格の高騰によりコロナ前の取扱高に回復傾向で推移。しかしながら丸太等の原材料費や製品の仕入値高騰により収益については依然、悪化の状況が続く。販売価格については、国産材および外材含め25%～50%増の状況。木材価格の先行きが見通せないため、新築、増築含め、発注者側へ見積りを出せない状況。また、需給関係については、引き合いは増加の傾向だが、急に増産体制を構ずることも出来ず、注文を断るケースも生じている。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	東京オリンピックは無事終了したが、都市部を中心に爆発的感染拡大し、緊急事態宣言の追加発出や継続発出という状況下、ワクチン接種も進んではいないものの、新たにより感染力の強いデルタ株への対応が求められている。印刷業界の売上高も前年の同時期と比較すれば20～30%は増加しているが、安定的な受注ではなく「またいつどうなるかわからない」という不安や政府の対応への不信感などから、将来を見据えた積極的な営業戦略やビジョンが描けず、設備投資や人材雇用には消極的にならざるを得ないという状況である。今後、この企業動向が更なる景気の低迷につながるという負のスパイラルに陥る可能性がある。	印刷 下関市
	製本作業等がないため、パート従業員に休んでもらっている。加えて山口県独自の緊急事態宣言により、4月開店の飲食事業部（レストラン）も低迷している。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、 (令和2年8月)骨材 90%、路盤材 96%、再生材 88% ↓ (令和3年8月)骨材 120%、路盤 101%、再生材 87%	砕石製造業
	出荷量は、前月比 96%、前年同月比 107%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	順調に受注が来ている模様である。しかし、梅雨時期よりも多い雨の影響により現場が滞っている。大雨による被害報告は無いが、お盆のお墓参りを延期された顧客からの状況確認の依頼があるかもしれない。	石工品製造業

	<p>前年比売上は、小売りはやや増加したものの、百貨店やギフトなど卸がやや減少し、全体では前年と変わらず。8/21より下関大丸6階(KANMON U.W.)で、萩焼協同組合の常設展示販売を開始。12の窯元が参加し、フロア展示の120アイテムに加え、カタログ販売は60アイテム。新型コロナウイルス感染症の影響で、ロクロ実演等の開店イベントが中止になったが、今後の売上に期待したい。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
一般機器	<p>新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接を実施しているが、ベトナムでも感染拡大のロックダウンの状況で、募集も困難で、面接も延期になっている。合格していた実習生も入国がいつになるか分からないため、キャンセルも発生している。</p>	<p>一般機械器具製造業 岩国市</p>
	<p>8月は、全体的に仕事量が少なく、苦勞した組合員が多かった。コロナ感染者が増えた影響で、濃厚接触となった社員を休職させないといけない等、業務に影響があるうえに、感染症対策等の無駄な経費が多くかかる。経費増大に、補助金等を活用する組合員も増えている。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>全体的には残業があまりないように見られるが、同一企業内の一部門では忙しいとの事である。</p>	<p>一般機械器具製造業 周南市</p>
	<p>コロナ禍により取引先の生産調整が要因となって影響を受けている。元請などから発注件数が少ない。外注は単価が高く、元請からは安値を求められる。大手自動車メーカーの操業停止に伴い、今後の業況が不安である。原材料の値上がりで、見積時の金額と合わない。電気の購入品などでは入手困難な部品もあり、世界的な半導体不足の影響だけの問題ではなくなっている。自動車業界において、半導体不足、コロナ禍、長雨など影響が大きく、まだ長引きそうである。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>新型コロナウイルスの蔓延による企業業績への影響が、製造業の一部企業に若干出始めてきたが、大半の企業では、むしろ外国人の入国が出来なく人手不足から残業が増加するとともに事業継続に支障が出てきており、入国制限の早期解除が望まれるところである。さらに、企業からは特定技能の労働者の紹介を依頼されることが増えてきたにも関わらず、逆に技能実習生から特定技能への切り替えにより、高賃金の都市部の企業への転籍が増えてくるとともに、帰国するケースが増えてきている。そのため、各企業とも人員の確保に苦慮している。この状況が長期化すると組合の運営に支障が生ずる。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>

	原材料価格の高騰や半導体の供給不足などにより、売上・収益が低迷している企業が増えてきた。	
輸送機器	社内の感染防止と、本人・家族・取引先等感染した場合の準備、対策等、業務外のことでエネルギーを費やす。組合員は大手企業の傘下であり、現在、職域接種を受けている。鉄道車両関係の受注は新車両も計画されており、生産予定はあるが世界的なコロナ禍の状況で確かな見通しが立たない。半導体は、好調に推移している。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	倉庫売上は前月比、前年比と微減であり、ここ半年も減少傾向にあるが、肉や海産物(カキ)がやや持ち直してきた。倉庫入荷量はやや増加に転じている。	乾物卸売業
	唐戸市場の週末の寿司営業も市からの要請により7回目の自粛となった。収入が激減し新型コロナウイルスによる不安な状況が続いている。	生鮮・魚介卸売業
	天候不良により売上が鈍化。	各種商品卸売業
小売業	山口県の新型コロナウイルス感染者数が増加し、それに伴い客足もだんだんと遠くなってきている。下関市も感染者数が増え、インショップや路面店ともに来店客数が減少しているが、助成金対象の30%減にはなっておらず、大変厳しい状況。また1週間続いた雨で涼しくなり、季節商品の売れ行きが悪化し、売上減少の要因になっている。早く天候が回復し、コロナも収束してほしいと組合員経営者は話す。	化粧品小売業
	8月初旬はエアコンが好調であったが、中旬は夏期休業と雨天により売上が減少した。売上は、前年同月比90%位である。	機械器具小売業
	令和2年8月と比べ約85%の売上。令和元年8月と比べると約58%の売上。日中・夜間の駐車台数が減少し、駐車場売上(現金売上)が減少している。貸しホールについては、申込みが少なく売上減少が続いている。	各種商品小売業 周南市
	7月は4連休の効果もあり対前年比21%と順調に推移、平年比でもほぼ同様の月商となった。8月の売上は8/24時点で前年同月比-16%と厳しい推移。特にお盆期間の天候不順や感染拡大の影響で客足が大幅に落ちた。都市部だけでなく山口県内でも感染者増加で今後の推移が心配な状況。	各種商品小売業 萩市
	8月の前年比売上100.4%、来店者数93.9%。この間もコロナ感染者が増えている。新学期に向けて、お弁当食材の需要が増加。夏野菜が高騰しているが、グリーンコープの青果価格は変動しないので、来店者が増えている。	各種商品小売業 下関市

商店街	<p>山口県も飲食店の休業要請が開始された。岩国市も隣接県からの流入がなくなり街の明かりが消えた。当然、日中の人出や売上にも大きく影響を与えるので、市況経済はほぼ停滞。すでに9月13日の緊急事態宣言等の延長も聞かれるなど、先行きが見えない不安定な状態が続く。</p>	岩国市
	<p>近辺の景観整備が進められており、商店街としては明るさが感じられるが、新型コロナウイルス感染者が増え、先行きが不安である。</p>	宇部市
	<p>飲食店利用の観光客が多少増加し、売上は前月比約20%増加の模様。他の業種は厳しい模様で、「来客は無く、売上は前月と変わらず、コロナ対策に追われ、先が見えない。」と組合員は話す。</p>	萩市
	<p>「下関市プレミアム商品券」が8月末で使用期限を迎えるが、商店街には一部の店舗を除き影響がないように思われる。新型コロナウイルスの影響で、買い物客もかなり減少している。</p>	下関市
サービス業	<p>山口県も7月から新型コロナウイルスの落ち着きが見られ、8月には上々の売上であったが、お盆の頃より感染者が増加し、客数が減少した。夏休みで子供の来店は多いが、年配の方の来店が減少し、売上が10%落ち込んでいる。</p>	美容業
	<p>長雨や新型コロナウイルス感染者の急増により、自粛の傾向が強まった。今後が不安である。</p>	理容業
	<p>山口県における7月の新車販売台数は、登録車が3,127台で対前年比105.4%、軽自動車は2,299台で対前年比84.3%となっており、軽自動車の売れ行きが2ヶ月連続で落ち込んできている。その要因としては、半導体不足により納車遅れによるものといわれている。また、登録車は対前年比でプラス推移しているものの、対前年は新型コロナウイルス感染拡大の影響から販売台数が大幅に減少している中での比較であり、令和元年度と比較すると85.9%となり、コロナ以前の販売台数に戻っていないことが分かる。</p>	自動車整備業
	<p>コロナ感染者が身近になってきた。子供たちへの感染は我々業界にとっては影響大である。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>前年同月と比較して全体の売上では8月もなんとか上回る事が出来た。しかし、純粋なクリーニング事業のみでは前年を割っている。コロナ禍から徐々に進めてきたクリーニングに付随する新たな試みが何とか支えになっている。単一の事業のみでは今後は厳しいと思われる。</p>	普通洗濯業

	<p>8月30日より、山口県の時短営業要請を受けて休業中。雇用調整などを使いスタッフの給料は支払っているが、今後、都市部のように度々自粛要請が出るようになるとしたら、事業の見直しが必要と思われる。接客を伴う飲食店は、料理食品を扱う飲食店とは違い、営業のしようがない。一日も早い完全な終息を願っている。</p>	飲食業
	<p>令和2年8月の53%、令和元年8月の4.5%のJR券販売額となっている。</p>	旅行業
	<p>令和2年8月と比べ、売上102.0%、宿泊人員122.6%となったが、新型コロナウイルス感染の影響のなかった令和元年8月と比べると、売上60.7%、宿泊人員56.8%と非常に厳しい状況が続いている。客単価については、昨年はコロナ対策として湯田温泉旅館協同組合や山口市でプレミアム宿泊券を発行し、また、GOTOトラベル(7/21)も開始され高額施設に予約が殺到し、大きくアップしたが、今年についてはこれらの対策が無いため、令和2年8月と比べ83.2%とダウンしている。</p>	旅館業 山口市
	<p>長引くコロナ禍、県の各種キャンペーンも始まったが、感染者数の増加に伴い、短期間での中止、延期となった。夏休みの集客時期であったが、前年度同等の落ち込みとなった。施設としてこれ以上打つ手がなくなっており、借入金だけが増えていく。</p>	旅館業 下関市
	<p>コロナ禍、令和2年の環境と同じ状況が続いている。入浴者数は前年同月と同数だが、売上高は15%減少している。施設も感染症対策をしているが、宿泊者は減少傾向である。燃料費の高騰が続いており収益に大きく影響している。機械設備も老朽化しており、資金繰りが厳しい。</p>	旅館業 長門市
建設業	<p>中電への工事申請121件(当支部100件)、前年同月134件(同122件)。太陽光発電への申請39件(前年31件)、オール電化申請68件(前年31件)。LED街路灯への切り替え・新設申請4件(前年26件)であった。</p>	電気工事業
	<p>技能者減少の中でも「人余り」がもう暫く続くことが見込まれ、事業所の縮小が進むと予測される。</p>	左官業
	<p>コロナ感染者が1社に1人あったが、大事には至らず順調に仕事が出来ている。テレビで話題となった水道工事の高額請求だが、新聞等の折り込み広告業者等では良く聞く話である。組合では業者紹介依頼があった場合、組合員企業を複数紹介しているが、皆年配で人が良く、法外な金額を請求する組合員はいない。</p>	管工事業

	東京 2020 オリンピック、パラリンピックが開催された。非難的な意見もあったが、全体的には概ね良かったとの評価だが、後始末には、問題山積と言える。衆院選挙が近付いており、この秋には大きなうねりが在りそうである。新型コロナウイルス感染拡大が収まらないのも、地域の活性化の弊害となっている。	土木工事業 柳井市
	8月の受注高は、対前年同月比 512.0%。令和3年度の累計では、対前年比 141.8%。1億超の工事をはじめ、大型工事の受注が数件あった。	土木工事業 萩市
	県発注の土木工事については、ほぼ前年並みで推移しているが、市発注については前年を下回っており厳しくなっている。	土木工事業 長門市
	過去に例を見ない長雨が続いたため、完成工事高の落ち込みが大きく、工程管理も大きな遅れが出た。資材の値上がり、納期遅れが顕著に出て来ており、先行き大変不安である。	屋根工事業
	見積依頼はあるが、設計見積のみが多く、受注に結び付くことが少ない。材料や消耗品の値上げが止まらず手配が困難な物もあり、加工費を圧迫している。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係は新型コロナウイルスの影響で、依然として輸送物質の減少がみられる。前月よりはやや増加がみられたが盆休みの振替休日により、稼働率は横ばいに等しい。国内向けの荷動きは前月比 0.3%弱の減少。輸出は 0.5%強の増加。燃料は 1.3 円の値上げ。中小零細運送業者には大きな負担となっている。	一般貨物自動車運送業 下松市
	広島での7月豪雨災害の影響に続き、コロナの影響で海外（中国、ベトナム、タイ等）の工場が一時停止したり、船便、飛行機も停止されたり等で、輸入部品調達に支障が出てきており、操業停止の自動車関連取引先企業もある。輸送取扱高については見通すことすら出来ない状況。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送関係は、海外向けの製品・資材の動きが好調のようである。関東向け等比較的長距離の荷動きも増えてきている。一方で雑貨品等、国内の輸送は全体として動きは鈍い。若干の人員不足があり、採用を続けている。	一般貨物自動車運送業 宇部市



	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲5.6%（令和3年7月1日～令和3年8月20日分）だった。7月1日～31日分は▲4.1%、8月1日～20日分は▲8.5%。前年度分がコロナで大幅に落ち込んだため（前年7月分は▲47.7%）、前々年度比では、それぞれ▲50.7%、▲49.9%、▲52.2%と、未だ半分以下の状態である。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。7月分については、周南▲9.6%、下松▲27.8%、光▲1.5%、防府市地区が+7.3%で、組合員の全域では▲7.1%、地区外（員外）+23.9%、合計▲4.1%(▲477千円)だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが高騰し（前月572.5\$/トンが今月637.5\$/トン、前年342.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月593.0\$/トンが今月595.0\$/トン、前年382.0\$/トン）。為替も円高（前月111.13円/\$が111.31円/\$）。燃料単価は+5.3%上昇、前年8月が低かった事もあり、前年比+31.2%となり、収入が落ちている中たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。夜間多く仕事をしてきた乗務員が、売上減少で歩合収入も減少し、生活ができないと言って退職したと言う話も聞く。それでも、需要が落ちているため、配車が追い付かないといった状況ではないようである。長引く不況にコロナが追い打ちをかけ、旅客運送事業は壊滅的な状況。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
	<p>令和2年10月より本格稼働が始まった木質バイオマスペレットの荷役業務により、対前年比の取扱高は、1割程度増加している。8月の大雨による被害はない。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>コロナ禍、ここ数ヶ月動きがなく、依然として外国人技能実習生の入国待ちの状態が続いている。顧客からは追加の受入れの要望が多数寄せられており、現状の回復と同時に、対応に追われることが予想される。契約が締結されている外国人技能実習生は、入国待ちの日本の受入会社とオンラインでやり取りをしており、関係は良好である。</p>	<p>介護事業</p>